

peace_love_cabird@yahoo.co.jp

今回の市民アンケートも政務調査費を使っています。調査旅費は会派が行う調査研究活動のために必要な先進地視察または現地調査に要する経費です。2012年度の調査旅費の支出は0円で、このため残金が多くなりました。小さな調査はたくさん行っていますが、「旅費」として請求するものではありませんでした。

生活相談より 「青葉台の住宅地の側の、 元芝畑だったところへ、土 砂が運び込まれ、土埃が ひどくて困っています」



共産党市議団へ、住宅の側へ土砂が運び込まれ、土埃がひどくて困っている、と相談が寄せられました。

● 4月8日に、市の都市計画課へ土埃対策を申し入れました。場所は、青葉台団地のメインストリート突き当たりの川向こうの土地です。(古い話ですが1990年の9・15豪雨で護岸が崩れたところです)

● 裾野市には、土砂を埋め立てる場合に、産業廃棄物の含まれた土砂捨て場にさせない等の理由から、「土砂等による土地の埋め立て等の規制に関する条例」が適用されます。面積500㎡以上の土砂等の量500㎡以上などの場合は届け出なければなりません。

● この土地を借りている方は、土砂等



の埋め立てではなく、あくまで土砂等の仮置き場、資材置き場であると言っているそうです。(注：現状は埋め立てとしか見えませんが)



● 市の都市計画課は 生活環境課また県の産業廃棄物対策の部署と一緒に、6月20日(木)までに対策をとるよう指導されています。

● 市民の安全で良好な生活環境を確保すること、災害の防止、環境の保全のため、注視しています。(岡本和枝)

中国・上海の公園にある さまざまな健康器具 認知症 も防げるかな？ 読者Sさんより



中国・上海郊外の大団地の中にある公園には、子供用の遊具のほかに、裾野市では見たことのない、高齢者の健康を維持するための器具が10基ほどあります。

娘家族が以前住んでいた団地でも同じような器具がありましたので、上海では一般的なのかなと思います。

遊具は、写真のほかに、足や腕の筋力



を鍛えるものや腰や股関節、肩を鍛えるものなどがあります。その公園に、10時半頃になると、就学前の子どもたちを連れた祖父母が三々五々集まってきます。子どもたちは公園内を走り回り、祖父母はそれぞれの器具で運動しながら子どもを見守っています。

若夫婦は共働きで、勤めを辞めた年金生活のじじばばが子守・子育てをするのが一般的のようです。また、公園に隣接して、大きな池と日よけの下に椅子が設置されたエリアがあって、そこでは、多くの高齢者が集まって、談笑したり歌ったり太極拳をしたりと、日中のひと時を楽しく過ごしていました。こういう時間が持てる場所では、認知症も少ないのかなと思いました。

編集部調査

なお調べてみると東京



ネット検索で見つけた上海の公園の健康器具で運動するお年寄り。紹介されたのと同じ健康器具です。

羽村市の富士見公園には同じ健康器具が多数あります。下はその写真。



ストレッチ遊具 太極拳－雲手)



ストレッチ遊具 太極拳－推手)

このほか多数の器具があり、それぞれ名前が付き利用法の説明も付いています。そしてなにより驚きなのは、これらの器具は「日本製」らしいということです。「**じょ じょ じょ**～」です。



上は、ネットで見つけた上海の公園での「実演」もう一つ。お母さんが吊り輪でダイナミックに「遊んで」います。これでは体も心もぼけません。

「原発をなくす会」が山梨県都留市の小水力発電探索隊



山梨県都留市は小水力発電の先進地。「原発をなくす会」は5月21日にマイクロバスを仕立てて探索に繰り出しました。目の前にあるのはドイツ製の小水力発電「元気くん1号」。右奥の都留市役所の電気の80%をまかなうまでになっているそうです。左端は、参加した小澤良一議員、右端は岡本和枝議員。



上の写真は「元気くん2号」。落差が少なくても発電できる利点があります。小

水力発電はもう一基あります(元気くん3号)。「つるのおんがえし」という市民債で建設費を生み出したという話を聞き、アイデアにもネーミングにも感心しました



都留市でもう1カ所よったのが駒橋発電所落合水路橋。1907年、駒橋発電所に発電用の水を送り込むため、朝日川を跨いで東京電灯（現在の東京電力）により設置された長さ56m、幅は8.5mの煉瓦製7連アーチの水路橋です。

上部では4～5メートル幅の水路が勢いよく流れていました。出来て116年、今も働いている現役の水路橋です。

来るな!!オスプレイ!!NO!
の看板が岩波駅南に
設置されました



場所はフジモリ理容所と小林ふとん店前の交差点